



あきたふうど ニュース
ミーティング

(公財)伊徳振興財団
の助成金を
活用しました！

秋田県内食品企業の女性従事者ネットワーク 令和元年度の活動報告



令和 2年 3月 23日
総合食品研究センター

秋田県内では、最近食品企業で働く女性の活躍が増えてきました！
が、それは業界全体でみるとまだまだほんの一握り。総合食品研究センター
(以下当センター)ではそれに対して何かできないだろうか？と考え、令和元年
度から、食品産業で輝く女性の連携とリーダー育成を目指す**秋田県内食品企業の
女性従事者ネットワーク事業**を始めました。

最終的には老若男女みんなが働きやすい食品業界にしたい！という壮大な夢を
描きながら始めたこの事業の、1年間の活動をご報告いたします。

1. 研究成果発表会

7月4日(木)に開催した当センター研究成果発表会は、サブテーマを「新たな
連携の形を探る」とし、第1部の研究発表に続く第2部において、本事業の主
担当である児玉研究員が所信表明ともいえる概要説明を行いました。

続く特別講演では(株)あきた総研 取締役 降矢育歩さんから、「**業界の伸び
しろは ズバリ “女性のひらめき”**」という演題で、『商品戦略には消費行動
の8割を占める女性視点が欠かせないこと、そしてこれからは、ダイバーシティ
(多様性)を意識して時代の変化に対応していくことが重要であること』などを熱
く語っていただきました。さらに、第3部のポスターセッションでは、中央地区
の様々な企業で働いている女性の活躍を、ポスターと商品の展示で紹介してもら
いました。



2. 交流会

企業で働いている女性従業員、それを支援する男性従業員の顔合わせのために県内3地域で交流会を開催しました。

7月 4日(木) 中央地区：秋田市 5社から7人のご参加

1月22日(水) 県北地区：大館市 6社から8人のご参加

事例発表：株式会社陽気な母さんの店 代表取締役 石垣一子さん

1月29日(水) 県南地区：横手市 7社から11人のご参加

事例発表：一般社団法人浅舞婦人漬物研究会 会長 佐藤征子さん

秋田県立大学吉尾聖子コーディネーターに進行をお願いし、参加者から自己紹介をしてもらいました。また、県北地区と県南地区では地域の女性リーダーから『女性が経済的に自立することを目指してがんばってきたこと、さらにそれをどうやって継続し発展させているか』の事例発表していただきました。

会終了後に提出していただいたアンケートを集計したところ、参加者の自己紹介では、他企業の方の話を「聞く」ことに興味を持ってもらったと同時に、自分の仕事や思いを「語る」ことがとても新鮮な体験だったようです。「女の人が多く、話しやすかったが、男性にも(特に管理職)聞いてほしい気がした。」「自社以外の人と話すことで、頭がすっきりすることも多いと思う。」「社内に籠っていて、行き詰まりを感じていましたが、交流会をきっかけに何か打破できそうです。」といったコメントが寄せられました。また事例発表に関しては、「女性は男性の言うとおりにするのが当たり前の時代から、女性がお金を稼ぐまでの苦労された歩みに感動した。」「心で思っているだけでなく、それを口に出して意見を言うことも大事である。良いものを生み出すきっかけとなる。」など、新たな気づきを得た方がいらっしゃいました。



3. 研修会

女性活躍支援には、企業の経営者の協力が不可欠です。そこで秋田県中小企業団体中央会の協力により、あきた食品振興プラザ会員(主に経営者)のための研修会を共同で開催させていただきました。講師お二人のご講演から、「育児する男性や働く女性の環境や意識の改革」はもちろん、それを支える「上司の意識改革の重要性」について、さらには「性別にかかわらず各自がパーソナリティを伸ばす職場づくりが重要」であることを学びました。

11月26日(火)第2回あきた食品振興プラザ研修会

1. ワークライフ バランス&令和時代の管理職『イクボス』のススメ

講師：合同会社あきたこまちネット 本田 正博 氏

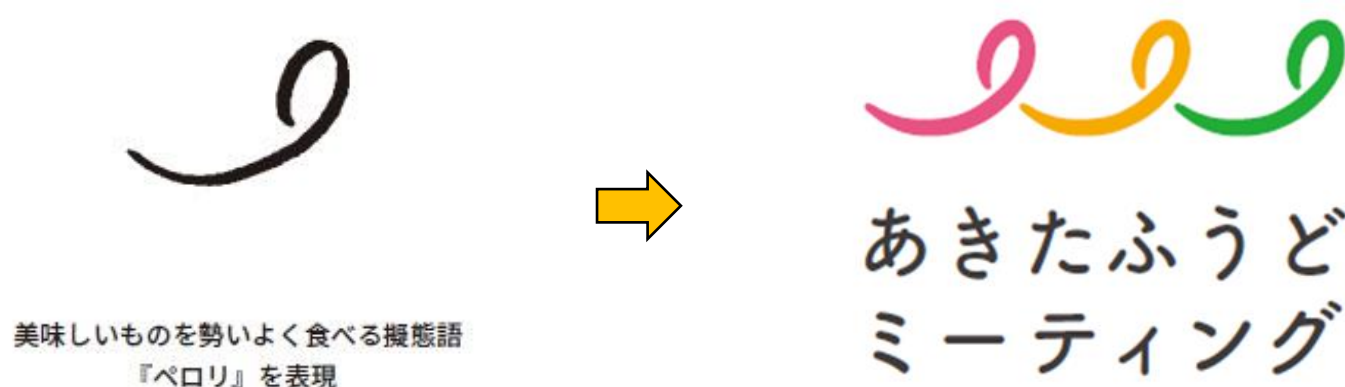
2. サトーグループのダイバーシティの取組みと販路拡大について

講師：株式会社サトー仙台支店第一営業グループ課長 田中順子氏

4. ワークショップ

活動の象徴となる愛称を2月13日(木)ワークショップで決めることにしました。が、メンバーが一堂に会することが難しかったため、1月下旬からメール(一部FAX)により愛称案を募集し、その後で投票をしていただきました。愛称案を見ていてひらめいた方も多かったようで、愛称案がさらに寄せられ、最終的に愛称案は38個になりました。ワークショップでは投票結果を基に参加メンバーが議論を重ねました。交流会の雰囲気、世の中の流れ、男性目線・女性目線など幅広い分野を考慮した結果、決定した愛称は「**あきたふうどミーティング**」。ふうどは「food」と「風土」の意味を持ち、地域食文化の交流ができる場所をイメージしています。

愛称に寄り添うシンボルマークの候補は2つありました。これも投票してもらった結果、賛同者が多かった『ペロリ』に決定しました。デザインを担当したLittle Aの鎌田あかねさん曰く『美味しいものを食べて満足しているペコちゃんの舌をイメージ』したものなのだそうです。投票してくれたメンバーからは『風土のイメージがある』、『人のつながりを感じさせる』といった意見もいただきました。



5. ホームページ

秋田県総合食品研究センターのホームページに、あきたふうどミーティング公式サイトをオープンさせる予定で、現在工事を進めています。

このサイトでは、メンバーの交流や開発商品の紹介などを行うほか、あきたふうどミーティングのイベントの紹介や報告なども行う予定となっております。更新次第改めてお知らせいたしますので、それまで少しお待ちください！

6. 今後の予定

4月からの具体的な活動はまだ決まっておりませんが、今年度のアンケートで人気があった「秋田の食文化」に関するセミナーや、メンバーが働いている工場見学などいかがでしょうか。食品プラザと合同の研修会も継続する予定です。取り上げてほしいテーマはありませんか？ この時にはプラザ会員以外の方も参加していただけるようにいたします。

あきたふうどミーティングは、令和2年度も進んでいきます。
皆さま、ご協力をどうかよろしくお願いします！

7. 令和元年度に参加していただいた皆様（五十音順）

（株）あきた総研 / 秋田いなふく米菓（株） / （株）秋田キャスルホテル
秋田県産業技術センター / 秋田県醗酵工業（株） / 秋田県中小企業団体中央会 /
秋田県立大学 / （同）あきたこまちネット / （株）秋田今野商店 /
秋田酒類製造（株） / 秋田比内や（株） / 秋田銘醸（株） / 浅舞酒造（株） /
（一社）浅舞婦人漬物研究会 / （株）浅利佐助商店 / あらとまい農場 /
（有）石孫本店 / （株）伊徳 / （株）恋する鹿角カンパニー / 株式会社サトー /
佐藤勘六商店 / （株）サノ / （株）タカヤナギ / としま農園 / （株）北都銀行 /
陽気な母さんの店（株） / Little A

8. 最後に

あきたふうどミーティングにはどなたでも参加できます。

メールアドレス（もしくは電話番号やFAX番号）をご連絡いただければ、お知らせ等をお届けいたします。

繋がりを広げていきたいので、お知り合いの方のご紹介也大歓迎です。